御殿場市告示第 号

都市計画法(昭和43年法律第100号)第19条第1項の規定により都市計画を変更したので、同法第20条第1項の規定により、次のとおり告示し、同条第2項の規定により、当該都市計画の図書を公衆の縦覧に供する。

令和 年 月 日

御殿場市 上記代表者 御殿場市長 勝 又 正 美

- 都市計画の種類及び名称
 御殿場小山広域都市計画 富士見原地区計画
- 2 都市計画を定める土地の区域 縦覧する計画図表示のとおり
- 3 縦覧場所 御殿場市役所都市建設部都市計画課

御殿場都市計画地区計画の決定(御殿場市決定)

都市計画 富士見原地区計画を次のように決定する。

名	 称	富士見原	地区計画		
位	置	御殿場市大坂及び富士見原三丁目の一部			
面	積	約 1.4 h	a		
区域の整備、開発及び保全に関する方針	地区計画の目標	当地区は、静岡県企業局施行の開発により生活道路、公園、給排水施設等の整備が行われており、建築協定の締結により建築物の位置、用途、形態等に関する一定の基準が			
		設けられていることによる良好な住環境が整備された住宅地に隣接している。			
		協定の主旨を受け継いだ地区計画を策定することにより、既存住宅団地と調和した良			
		好な住宅地の形成を図ることを目標とする。			
	土地利用の方針	既存集落や農地と調和の取れた良好な新規住宅地を形成するため、区画道路の都市基			
		盤の整備を図りつつ、建築物等の規制を行い、ゆとりある居住環境の形成を図る。			
	建築物等の整備の方針	良好な住宅地とするため、低層の一戸建て住宅を原則として、建築物の用途の制限、			
		建築物の敷地面積の最低制限、建築物の建蔽率及び容積率の最高限度、建築物の高さの			
		最高限度、壁面の位置の制限、垣又は柵の構造を定める。			
	地区施設の配置及び規模	【道路】			
		種類	名称	幅員	延長
		道路	区画道路 1 号線(市道 3435 号線)	6m	延長:117.55m
			区画道路 2 号線	6m	延長:90.95m
			区画道路 3 号線	6m	延長:97.79m
 地			区画道路 4 号線(市道 3613 号線)	6.2m	延長:85.60m
地区整備計画				4m	延長:15.62m
			区画道路 5 号線	4m	延長:21.82m
		【調整池】			
		種類	名称	幅員	面積
		調整池	調整池	_	1,191.10 m
		【公園】(既存)			
		種類	名称	幅員	面積
		公園	あじさい公園	_	3,242.19 m

	建築物の用途の制 限(建築すること ができる建築物)	(1) 一戸建て住宅			
		(2) 長屋			
		(3) 一戸建て住宅で次に掲げる用途を兼ねるもの(これらの用途に供する部分の床面			
		積の合計が建築物の延べ面積の2分の1以上を居住の用に供するものに限る。)			
		ア 事務所(汚物運搬用自動車、危険物運搬用自動車その他これらに類する自動車			
		で国土交通大臣の指定するもののための駐車施設を同一敷地内に設けて業務			
		を運営するものを除く。)			
		イ 日用品の販売を主たる目的とする店舗			
		ウ 学習塾、華道教室、囲碁教室その他これらに類する施設			
		エ 理髪店、美容院、クリーニング取次店、質屋、貸衣装店、貸本屋その他これら			
		に類するサービス業を営む店舗			
		オ 出力の合計が0.75kw以下の原動機を使用する美術品又は工芸品を製作するた			
		めのアトリエ又は工房			
		(4) 前各号の建築物に附属するもの(令第 130 条の 5 に規定する建築物を除く。)			
	壁面の位置の制限	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面(地階が設けられている場合の当該地階部分及			
		び建築物の附属部分で床面積に算入されない出窓、ベランダその他これらに類するもの			
		を除く。)から道路境界線及び隣地境界線までの距離は 1.0m以上とする。			
		ただし、上記の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分が次に該当する場			
		合はこの限りではない。			
		・物置その他の附属建築物で床面積の合計が 10 ㎡以下で、かつ建築物の高さが 3.0m			
		以下のもの及び自動車専用車庫			
	「垣」・「柵」または「塀」の構造制限	道路境界線又は隣地境界線に面する垣又は柵は、生け垣、フェンス、鉄柵等とし、ブ			
		ロック塀等その他これらに類するものを設置しない。ただし、垣、柵等の基礎で高さ 0.4			
		m以下のものはこの限りではない。			
		敷地は緑化に努め、良好な管理を行う。			
	建築物等の高さの	10m			
	最高限度				
	建築物等の形態又は色彩その他意匠の制限	建築物の外壁及び屋根の色彩は、原色を避け、周囲と調和がとれた落ち着いた色合い			
		とする。			
		こゝる。 敷地内の施設以外のための広告板、看板その他広告物を表示し、又は広告物を掲出す			
		る物件を設けてはならない。ただし、公益上必要なものは、この限りではない。			
	建築物の建蔽率の	60%			
	最高限度				
	建築物の容積率の	150%			
	最高限度				
	建築物の敷地面積	200 m ²			
	の最低限度				

「区域は計画図表示のとおり」

理 由

御殿場市市街化調整区域における地区計画適用に関する基本方針に基づき、 既存住宅団地隣接地における低未利用地の無秩序な土地利用を抑制し、将来に わたり良好な住環境を維持、保全していくため、本案のとおり地区計画を決定 する。

決 定 理 由

本地区は、JR御殿場線富士岡駅より約1.5kmに位置し、国道246号及び東名高速道路駒門スマートインターチェンジへのアクセスが容易で交通利便性が良く、周辺には公共公益施設や日用品店舗などの都市機能が集積していることから、生活利便性が高い地域である。しかし、近年は生活様式の変化による人口減少や地域特性による高齢化が顕著に表れており、将来的な地域コミュニティの維持が課題となっている。

また、当地区について「御殿場市都市計画マスタープラン」などの上位計画においては、生活道路網が整備された土地利用の促進が見込まれることから、自然環境や農業環境との整合を図りつつ、ゆとりある生活環境の形成を図る地域として位置付けられている。

なお、市内の開発需要の高い地域においては、無秩序な開発行為により周辺環境が悪化することの無いよう配慮するとともに、上位・関連計画に基づいた地域の活性化に寄与する計画的な土地利用の誘導が求められており、本地区周辺の住宅地における良好な住環境を将来にわたって保全していく観点からも、隣接地における無秩序な土地利用を抑制する必要がある。

以上のことから、「御殿場市市街化調整区域における地区計画適用に関する基本方針」における本地区周辺の土地利用方針に基づき、不良な街区形成を防止し、周辺の住宅地と調和した良好な住環境の形成と地域コミュニティの維持を図るため、富士見原地区計画を本案のとおり決定する。

都市計画決定までのスケジュール (案)

縦 覧 令和8年2月 予定

市審議会開催日 令和8年2月 予定

御殿場小山広域都市計画 地区計画の決定 富士見原地区計画(御殿場市決定)

位 置 図

第 号議案附図

NO.









